



めざす児童像

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たのもしく

令和7年12月24日 木津川市立恭仁小学校 学校だより 冬休み号

2学期の終わりを迎えるにあたって

長かった2学期も今日で終わりです。2学期も楽しく学校生活を過ごすことができましたか。2学期はたくさん行事がありました。これらの行事を通してみんなが少しずつ成長していく姿を見ることができ、よい2学期だったと思いました。

さて、明日から冬休みです。みなさんも楽しみにしているでしょう。冬休みは短いですが、お正月は普段なかなか会えないしんせきの方と過ごしたり、旅行に行く計画をしたりしている人もいるでしょう。それぞれの冬休みを健康で安全に過ごしてください。また新しい年を迎えるにあたって、一年の目標も考えてみましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、2学期の本校教育にご理解とご協力をいただきありがとうございました。たくさんの行事があった中、それぞれの場面でお力添えをいただき充実した活動となり大変感謝しております。どうぞよいお年をお迎えください。

それでは、1月8日に元気な姿で会えることを楽しみにしています。

<学年より>

いつみ

長い2学期が終わりました。行事では、運動会に持久走大会、6年生は修学旅行、2年生は校外学習とたくさんの行事がありました。運動会では難しいダンスを覚えるまで何度も練習したこと、持久走大会では最後まであきらめずに走り切ったことなど、様々な場面で頑張る姿をたくさん見ることができました。

明日から冬休みです。3学期も元気いっぱい新しいことに挑戦できるように、冬休みはゆっくり休んで力を貯めておいてほしいと思います。

よいお年をお迎えください。

1年

本日、2学期終業式を迎えました。今学期は、いろいろな行事等を通して、1年生は大きく成長したと思います。運動会では、みんなで力を合わせてやり切ることの大切さと素晴らしさを知りました。また、冬の校外学習では、団体行動を通して、歴史や文化、及び生物等について学ぶことができました。

明日から、冬休みです。ご家庭では新年に向けて、何かと忙しいと存じます。子どもたちが家族の一員として、お家の方と協力して仕事をし、家族の温もりを感じながら、希望に満ちた新年を迎えてほしいと思います。良いお年をお迎えください。

2年

一年の中で一番長い学期を無事に終えることができました。2学期は、「自分の想いをしっかり伝えよう!」をテーマに進めてきました。まずは、聞く姿勢から見直しました。つぎは、友だちの意見と比較しながら、自分の意見を伝えることにチャレンジし「聞くこと、話すこと」が少しずつ上手になってきました。

さあ、来年はいよいよ中学年です。人前で話すことが増えていきます。堂々と自信をもって自分の意見を言えるように引き続き、頑張っていきたいと思います。

冬休みの間にエネルギーをためて、3学期も更なる活躍に期待しています!よいお年をお迎えください。

3年

長いと思っていた2学期もあっという間に終わりました。運動会や持久走大会、校外学習など多くの行事がありましたが、それぞれが自分の目標をしっかり持ち、みんなで協力し励まし合いながら取り組んでいました。2学期から頑張っている「つながろう!話し合い」は、伝える力、聞く力を意識し、友達の意見と比較することが少しずつできるようになってきました。3学期も元気いっぱい過ごせるように、冬休みはゆっくり休んでパワーを貯めておきましょう。よいお年をお迎えください。

4年

2学期の4年生は、浄水場、ガラス工場、消防署など多くの場所に見学に行きました。それぞれの見学先で働く方々の努力や工夫などを知ることができました。子どもたちは自分たちが暮らしている社会が、様々な人々に支えられていることに気付くことができました。

学校の中では、4年生も委員会活動などで学校を支える立場として頑張っています。2学期は5・6年生が活躍している様子を見て、「来年の自分をイメージしよう。」と話をしてきました。3学期は高学年に向けて、全員で成長できるように取り組みを進めたいと思っています。

明日からは冬休みです。ご家庭で楽しい時間をお過ごしください。

5年

行事も学習内容も盛りだくさんだった2学期ですが、気付けば終わりです。5年生は全校行事の他にも、米作りに中心的に関わってきました。

米作りに関わっては、地域の米作りの課題を知り、「瓶原の米作りを守りたい!」と、担い手不足の解決策を考え、地域の米作りに関わる方々にアドバイスをいただきながら、プレゼンテーションの内容を何度も練り直してきました。大人でも諦めてしまうような課題にも知恵を絞り、行動しようとする5年生の姿に、関係者の方々も心を動かされたようで、今後の活動や自信に繋がっていきそうです。

冬休みはゆっくり休んで、3学期に更なる活躍を見せてくれるのを楽しみにしています。よいお年をお迎えください。

6年

長かった2学期も今日で最終日です。様々な行事で全校の前に立ち、6年生としての姿を見せなければならないというプレッシャーや責任感と闘いながらも、友達と相談しながら力を合わせて取り組む姿や、最後までやり切る姿に何度も頼もしさを感じました。

冬休みは心と体を休ませる大切な時間です。ただし、生活リズムが乱れると3学期のスタートがしんどくなってしまうので「早寝・早起き・朝ごはん」のリズムを冬休み中も崩さず、計画的に宿題を進めながら過ごしてほしいと思います。

3学期はいよいよ小学校生活のラストスパートです。一日一日を大切に、思い出に残る日々と一緒に過ごしていきましょう。冬休みは、どうぞご家族で温かい時間をお過ごしください。

カウンセラーの木口先生より、子育てのヒントになるお話をいただきました。

今後も、掲載にご協力いただく予定です。

～冬休み中 学校があいている日～

12月

25日(木) 26日(金)

1月

5日(月) 6日(火) 7日(水)

校庭の開放は、平日の10時～16時
16:30には、帰宅しているようにご家庭でご確認ください。

電話がつながる時間帯は8:30～17:00

これ以外の日で、緊急に連絡が必要な場合は、
市役所 72-0501 へお願いします。

音楽出前授業

音楽の歌唱指導を専門家の方にお世話になっています。1学期1回、2学期2回、3学期2回です。

「歌うことは、伝えること」、伝えたい気持ちを持つことの大切さを学んでいます。

3学期には、発表の場を設定する予定です。

☆親子の糸をちょうとよく☆

子どもにとっての「愛情」とは、親が示す姿勢や態度によって届けられる“心地よい感覚”です。何かをしてあげることだけが愛情ではなく、あえて手を出さずに見守ることも、立派な愛情表現になります。

この心地よい感覚をたくさん積み重ねることで、子どもは「自分は大切な存在だ」と感じられるようになり、人に優しくしたり、自信を持って新しいことに挑戦する力を育てていきます。

例えば、躓いたときに、「もうやりたくない」とあきらめてしまうか、「次は頑張ろう」と切り替えられるかは、心地よい経験の積み重ねによって大きく変わってきます。

大切なのは「与えすぎず、任せすぎず」の距離感です。

・ 近すぎる場合 親の不安が先立ち、先回りすると、子どもは自分で選ぶ力を育みにくなります。

また、子どもの気持ちに寄り添いすぎると、人との境界線や他者の気持ちを学ぶ機会が減り、摩擦に弱くなってしまいます。

・ 遠すぎる場合 「自立」と思って任せすぎると、子どもは安心感や支えを失いやすくなります。

親子の関係は、一本の糸の張りに例えると、張りすぎる糸は、子どもの自由を奪ってしまうし、緩みすぎる糸は、子どもを迷わせてしまう。適度な張りの糸は、美しい音色を奏でるように、親子の関係を響き合わせてくれます。子どもが「心地よい感覚」をたくさん持てるように、糸の響きを大切にしていきたいですね。

カウンセラー 木口